

4 どんぐり結実状況調査（堅果類豊凶調査）

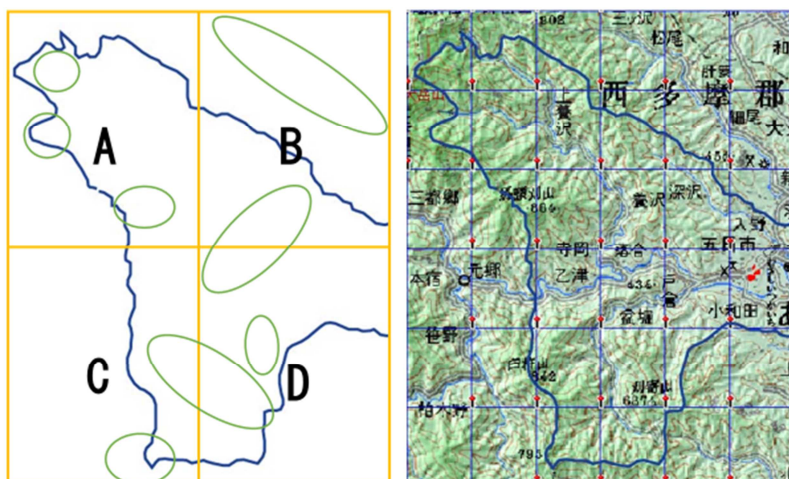
この調査は、平成25年度から実施しています。先にも述べたように、多くの野生動物の食物となるブナ科どんぐりの結実状況を調査し、秋期にツキノワグマなどの野生動物が人里に下りてくる可能性の大小を見極め、注意喚起に役立てています。

調査の結果は、東京都や自治会に報告するとともに「森林レンジャーあきる野新聞」を通して広く発信しています。

なお、日本全国の「堅果類の結実状況」は、環境省のホームページで公開されています。

○ 調査地（令和元年度から4エリアに変更）

市の西部を4つのエリアに分け、その中でもクマの痕跡を確認していて、ブナ科堅果がまとまって生育している範囲。 ※調査地の一部に日の出町と檜原村を含む



○ 調査時期

8月中旬から9月上旬まで。

○ 調査方法

以下のとおりレベルを定めて双眼鏡を用いて判定し、エリアごと・樹種ごとの結実状況を明らかにします。

レベル	評価
5	豊作 樹冠全体に密に結実
↑	並～豊作 豊作と並作の間
	並作 樹冠全体に疎に結実又一部で密に結実
↓	不～並作 並作と不作の間
	不作 まばらに結実
0	凶作 実は見られない

○ 調査結果

〈エリア別樹種ごと〉

ブナは A エリアに 5 本、令和 4 年には C エリアに 1 本確認していますが、調査はま
とまって生育している A エリアのみとしています。ミズナラは、B エリアでの分布を
確認していません。

令和 4 年	樹種\エリア	A	B	C	D
	ブナ	並～豊作	-	-	-
	ミズナラ	並～豊作	-	並作	不作
	ヤマグリ	並～豊作	不～並作	不～並作	不～並作
	コナラ	並作	並作	並作	並作
令和 5 年	樹種\エリア	A	B	C	D
	ブナ	凶作	-	-	-
	ミズナラ	不作	-	不作	不～並作
	ヤマグリ	不作	不～並作	不作	不～並作
	コナラ	不作	不～並作	不作	並作
令和 6 年	樹種\エリア	A	B	C	D
	ブナ	不～並作	-	-	-
	ミズナラ	不作	-	凶作	-
	ヤマグリ	並～豊作	不～並作	並～豊作	並作
	コナラ	不～並作	不～並作	不～並作	不～並作

〈樹種ごと〉

・あきる野市

樹種	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
ブナ	凶作	並作	不作	並～豊作	凶作	不～並作
ミズナラ	並作	並～豊作	並作	並作	不作	不作
ヤマグリ	不作	不～並作	不～並作	不～並作	不～並作	並作
コナラ	不～並作	並～豊作	不～並作	並作	不～並作	不～並作

・檜原村

樹種	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
ブナ	未調査	豊作	凶作	並作	凶作	不～並作
ミズナラ	並～豊作	不～並作	並～豊作	並作	並～豊作	不～並作
ヤマグリ	凶作	並作	不～並作	並作	不～並作	並～豊作
コナラ	並作	並～豊作	並作	並作	並作	並～豊作

特記事項) ナラ枯れについて

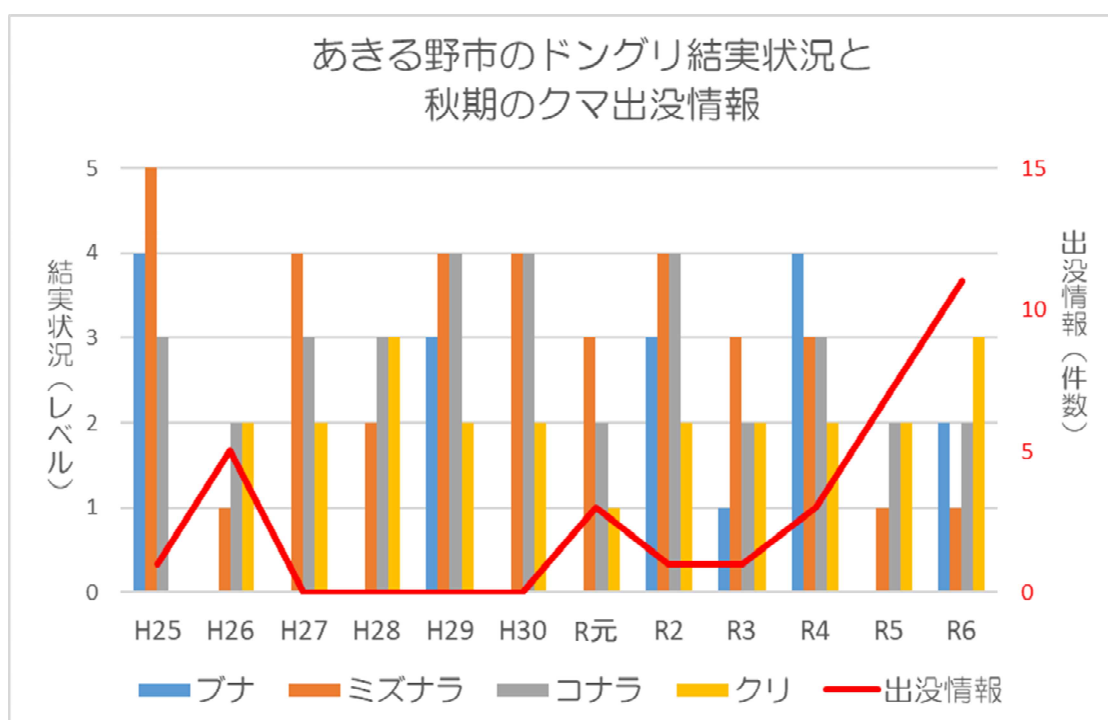
ナラ枯れとは、カシノナガキクイムシが媒介するナラ菌によってブナ科（市内では
主にミズナラやコナラ）の樹木が集団的に枯死する伝染病です。市内では、令和 2 年
に丘陵地のコナラのナラ枯れが見られ、令和 3 年には市内の高標高地に生育するミズ
ナラのナラ枯れを確認しています。中でも、市の高標高地に自生するミズナラは強い
影響を受けています。ツキノワグマにとって、ミズナラのどんぐりは重要な餌資源で
すが、生産量に年変動があるだけでなく、ナラ枯れによって市内の中～大径木のミ
ズナラは枯死しているのが現状です。

○ 結実状況と秋期（９月～１１月）のクマ出没件数

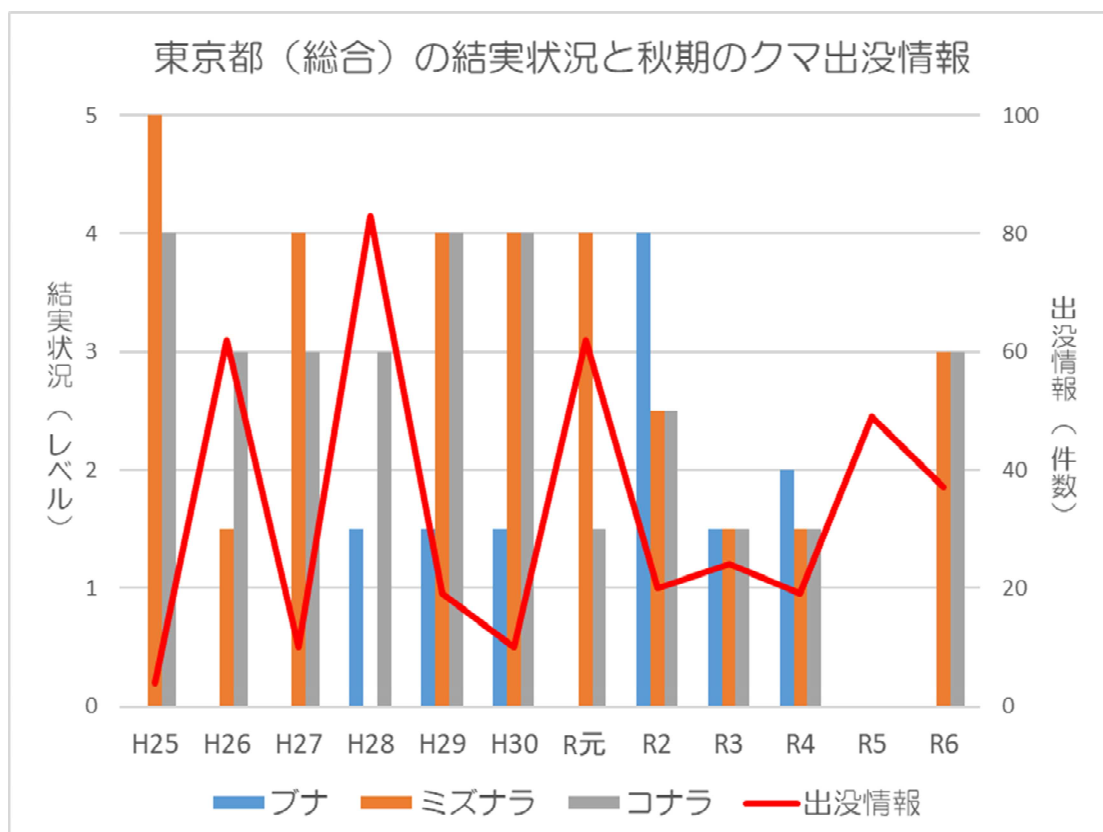
	あきる野市着果状況				市内の クマ出没件数	東京都（総合）着果状況			東京都の クマ出没件数
	ブナ	ミズナラ	ヤマグリ	コナラ		ブナ	ミズナラ	コナラ	
平成25年	並～豊作	豊作	—	並作	1	不作	豊作	並～豊作	4
平成26年	凶作	不作	不～並作	不～並作	5	凶作	凶～並作	並作	62
平成27年	凶作	並～豊作	不～並作	並作	0	凶作	並～豊作	並作	10
平成28年	凶作	不～並作	並作	並作	0	凶～並作	凶作	並作	83
平成29年	並作	並～豊作	不～並作	並～豊作	0	凶～並作	並～豊作	並～豊作	19
平成30年	凶作	並～豊作	不～並作	並～豊作	0	凶～並作	並～豊作	並～豊作	10
令和元年	凶作	並作	不作	不～並作	3	凶作	並～豊作	凶～並作	62
令和2年	並作	並～豊作	不～並作	並～豊作	1	並～豊作	凶～豊作	凶～豊作	22
令和3年	不作	並作	不～並作	不～並作	1	凶～並作	凶～並作	凶～並作	24
令和4年	並～豊作	並作	不～並作	並作	2	凶～豊作	凶～並作	凶～並作	19
令和5年	凶作	不作	不～並作	不～並作	6	凶作	凶作	凶作	40
令和6年	不～並作	不作	並作	不～並作	12	凶作	並作	並作	49

※ 「—」は未調査

※ ツキノワグマらしき動物（カモシカ、イノシシなどの可能性あり）と山林内の目撃情報を含んだ件数となっています。ただし、市内の目撃情報については人家周辺のみとしています。



※ 結実状況の値 5…豊作、4…並～豊作、3…並作、2…不～並作、1…不作、0…凶作（凶～豊作は2、凶～並作は1.5とした）



※ 結実状況の値 5…豊作、4…並～豊作、3…並作、2…不～並作、1…不作、0…凶作（凶～豊作は2、凶～並作は1.5とした）

○ 注意喚起

秋期の野生動物による人への危害や農作物等の被害を防ぐためには、ミズナラとコナラのどんぐりが利用され始める9月から11月頃までは、野生動物を人里に誘引する可能性のある「放置果樹、廃棄農作物、生ごみ、餌付け」などを取り除くこと、また「森と人里の間のやぶの刈払い、電気柵の設置、山歩きの準備（クマ鈴の携帯）」などが特に必要です。

人里に野生動物を寄せ付けない・人と野生動物が接触しないために必要なことを地域住民や観光客に周知し、クマの行動域を広げないことが地域住民の生活を守ることにもなります。

こうした地域づくりは、生物多様性を推進する本市の取組の一つとして重要だと考えます。そのため、調査結果を自治会に報告するとともに、地域の掲示板にコレンジャーが作成した注意喚起ポスターを掲出していただいています。

